

序編

はじめに

序編 はじめに

1 策定の趣旨

平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震とその後襲来した巨大津波により、多くの市民が尊い命を失い、日常の平和な暮らしを奪われ、生活を支える都市と産業の基盤が破壊されました。

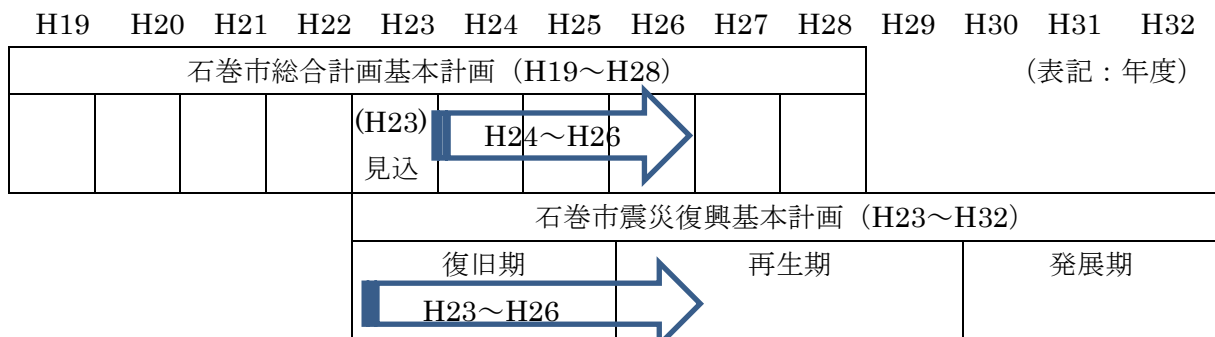
この未曾有の経験から立ち直り、本市の復旧・復興を遂げていくための道標として策定したのが「石巻市震災復興基本計画」（以下「復興計画」と表記）です。今後は、復興計画に掲げる各種施策を着実に実施し、市民の不安を安心に変えていかなければなりません。また、復旧・復興とは直接的には関わらない施策であっても、市民生活を支えるために必要な施策は多々あります。これらについては、「石巻市総合計画基本計画」（以下「総合計画」と表記）に基づく施策として、計画的に実施してまいります。

本書は、復興計画の施策及び総合計画の施策の今後の具体的な取り組みを示しています。今回掲載した事業は、策定時点における想定であり、今後の社会情勢の変化や復興の進捗状況を踏まえ、毎年度、見直しを行います。

2 実施計画の期間

総合計画は、平成19年度から平成28年度までの10年間を全計画期間としており、その施策展開は、財政状況を踏まえながら具体的な実現手段を3か年の実施計画で明らかにすることとしています。本書においては、総合計画に係る実施事業として、平成24年度から平成26年度までの3年間の具体的な取り組み及び平成23年度実績見込みを掲載しました。

また、復興計画は、平成23年度から平成32年度までの10年間を全計画期間としており、平成23年度から平成25年度までを復旧期、平成26年度から平成29年度までを再生期、平成30年度から平成32年度までを発展期と位置付け、それぞれの期間に注力すべき施策を掲げています。本書においては、復興計画に係る実施事業として、平成23年度から平成26年度までの具体的な取り組みを掲載しました。



※ 今回は、復興計画の初年度であるため、現年度を含めた4か年で掲載しておりますが、次年度からは、次年度以降の3か年のローリングで策定します。

3 実施計画の構成

本書では、前半は総合計画に係る事業を、後半は復興計画に係る事業をそれぞれの施策体系に応じて掲載しています。

4 実施計画掲載対象事業

総合計画及び復興計画の施策に基づく事業で、市が実施する主な事業を施策体系に応じて掲載しています。また、国、県及び民間が事業主体となり実施する事業であっても、市が事業費を負担・助成する事業は掲載しています。

なお、行政内部事務、施設の運営・維持管理業務は含んでおりません。

5 数値目標

総合計画及び復興計画に係る事業見通し予定額は、次のとおりです。

(1) 総合計画実施計画額（平成24年度～平成26年度合計）（単位：百万円）

総合計画体系区分	合 計
第1章 ともに創る協働のまち	82
第2章 個性と創造性豊かな未来の担い手をはぐくむまち	2,261
第3章 地域資源を活かして元気産業を創造するまち	837
第4章 安心して健やかに暮らせるまち	38,150
第5章 心ゆたかな誇れるまち	6,810
第6章 地域の個性が輝き融和するまち	2,450
合 計	50,590

(2) 復興計画実施計画額（平成23年度～平成26年度合計）（単位：百万円）

復興計画体系区分	合 計
施策大綱1 みんなで築く災害に強いまちづくり	367,400
施策大綱2 市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す	460,200
施策大綱3 自然への畏敬の念を持ち、自然とともに生きる	120,300
施策大綱4 未来のために伝統・文化を守り、人・新たな産業を育てる	25,400
合 計	973,300

※ 事業費については、設計前の概算の事業費の積み上げであり、今後、各事業単位での設計や事業内容の整理、あるいは財源の動向により増減していくこととなります。

6 個別事業概要の見方

実施計画においては、次に示す形式で、個々の事業の概要を示しています。

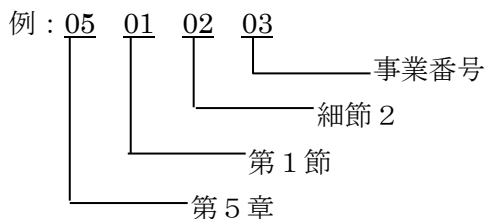
事業コード	05010203…①	担当課	■■課	摘要	②	
事業名			事業期間	H24	～	H26…③
事業概要 (全体計画)			年度別事業内容			
			H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
			④	④	④	④
指標名		単位	H23見込値	H24目標値	H25目標値	H26目標値
活動指標	⑤					
成果指標	⑥					

① 事業コード

事業には、それぞれコードを付しています。

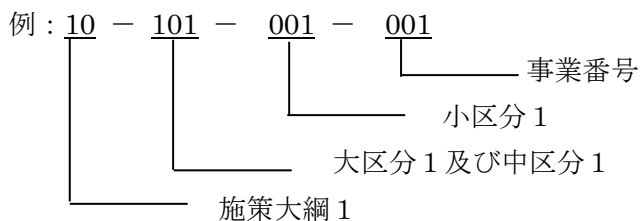
このコードは、総合計画の施策体系又は復興計画の施策体系に準じています。

上記の例に総合計画の施策体系を当てはめると、「05010203」のはじめの「05」は第5章を、次の「01」は第1節を、次の「02」は細節2を、次の「03」は事業番号を意味します。



また、例えば、復興計画における事業コード「10-101-001-001」の場合、「10-101-001-001」のはじめの「10」は施策大綱1を、次の「101」は大区分(100の位)と中区分(1の位)を、次の「001」は小区分を、次の「001」は事業番号(連番)を意味します。

※この番号付番の考え方は、今後、財務会計に登録を行う予定の番号となっております(最後の事業番号は変更となる予定です)。



② 摘要

総合計画に係る事業のうち、建設事業は「建設」と、新規事業は「新規」と、既存事

業で新たに掲載したものは「掲載新規」と、総合計画リーディング事業は「リ」と記載しています。

なお、復興計画に係る事業については、摘要欄を使用しておりません。

③ 事業期間

事業の実施期間を示しています。毎年度継続的に実施しているソフト事業などは、総合計画施策事業についてはその計画期間である「H19～H28」と、復興計画施策事業についてはその計画期間である「H23～H32」と記載しています。

④ 年度別事業計画

年度ごとの事業内容を記載しています。事業概要に記載の内容と同様の場合は、単に「実施」と記載しています。

⑤ 活動指標

どれだけの活動を行うか、どのようなサービスを市民に提供するのかを表す指標です。

⑥ 成果指標

実際に行う活動や提供するサービスの結果、市民にどのような影響（効果）を与えるかを表す指標です。

⑤及び⑥については、指標設定が困難である事業や指標による管理が適当でない事業もあることから、指標設定を行っていない事業もあります。

また、復興計画に係る事業については、「活動指標」及び「成果指標」の表記を用いず、「指標名」と区分で、どれだけの目標をもって事業を実施するのかを表す指標を示しました。